

MYTEK DIGITAL 192- DSD 導入記 (8)

—USB2.0 入力 (その I) —

1. 始めに

前報(7)では PC にドライバーのインストールなどの環境設定の必要のない USB1.1 入力について報告しましたが、今回は USB2.0 入力におけるハイレゾ PCM 再生について報告いたします。

2. PC の環境設定

PC は Windows 7 機の Dynabook T451/57DB を使用し、マニュアルに従ってドライバーを MYTEK DIGITAL のサイトからダウンロードしてインストールします。前報(7)で使用した、音楽用として常用の Dynabook PANB100HNUF は Vista 機であつて MYTEK DIGITAL 192-DSD 用のドライバーのサポートがないようです。

ドライバーのインストール後 MYTEK DIGITAL 192-DSD を接続し、Stereo 192-DSD DAC Control Panel を起動して MYTEK DIGITAL 192-DSD を device として認識していることを確認後、Control Panel で 192KHz を選択します。

再生ソフトとして Stream Player を使用する時は、PC のコントロールパネルの SOUND で device として MYTEK DIGITAL 192-DSD を指定し、192KHz, 24bit を選択します。再生ソフトとして AudioGate を使用する時は、さらに AudioGate の環境設定の画面で 192KHz を選択します。

試聴音源として 192KHz, 24bit WAV を再生するときは次のルートで試聴しました。
USB-5→PC (T451/57DB) →MYTEK DIGITAL 192-DSD (192 KHz/入力なし)

外部クロックは 192KHz の再生なので GPS-777 より 192KHz を入力します。

試聴音源として DSF, 5.6MHz を AudioGate で再生する場合は次のルートで試聴しました。この場合、DSF, 5.6MHz はリアルタイムに AudioGate で 192KHz, 24bit WAV に変換され MYTEK DIGITAL 192-DSD に送り込まれます。

PC の内蔵 HDD→PC (T451/57DB) →MYTEK DIGITAL 192-DSD (192 KHz/入力なし)

4. MYTEK DIGITAL 192-DSD の USB2.0 入力の試聴結果

192KHz, 24bit WAV の Stream Player による再生で、MYTEK DIGITAL 192-DSD への外部クロック入力なしの Internal SYNC ではかなりのレベルの音がしますが、GPS-777 から MYTEK DIGITAL 192-DSD に 192 KHz のクロック入力を行いますと、音の表情が一段と豊かになります。

DSF, 5.6MHz の AudioGate の再生では、MYTEK DIGITAL 192-DSD への外部クロック入力なしの Internal SYNC ではかなりのレベルの音がしますが、GPS-777 から MYTEK DIGITAL 192-DSD に 192 KHz のクロック入力を行いますと、本来の DSD の音が一皮剥けて出てきたようで音の彫が深くなり音楽の表情が一段と豊かになります。

5. まとめ

MYTEK DIGITAL 192-DSD の USB2.0 入力における Internal SYNC での 192KHz, 24bit WAV 再生と DSF, 5.6MHz の AudioGate による 192KHz, 24bit WAV へのリアルタイム変換の再生はかなりのレベルの音質でしたが、MYTEK DIGITAL 192-DSD に GPS-777 から 192 KHz のクロック入力を行いますと、一層の音質向上が認められました。

以上

注：上記の外部クロック入力効果については、あくまで実施した組み合わせについての限定的なものであってすべての組み合わせに一般的な効果として発現するものではありません。実際に外部クロック入力の効果がほとんど得られない場合や、かえって音質劣化を起こす場合もあり、ロックすらしめない場合もあるので、個々の組み合わせについて慎重な検討を要することを申し添えます。